

## “クォークと超弦理論”

Quark and superstring

橋本 幸士 氏

(理研仁科センター 橋本数理物理学研究室)

Dr. Koji Hashimoto

(Mathematical Physics Lab., RIKEN Nishina Center)

AdS/CFT対応と呼ばれる新しい対応原理は、QCDを高次元重力理論で記述するというまったく驚くべき視点を与えた。本講演では、超弦理論（すなわち高次元の量子重力理論）とQCDの間の双対性によってどのようなことが分かって来たのか、を述べたい。例えば、ハドロンスペクトル、非閉じ込め転移、カイラル凝縮、有限クォーク密度、多体核子模型、などの様々なQCDの重要な様相が、高次元重力の現象に対応する：ブラックホール転移、Dブレーンの力学、宇宙定数、量子重力補正、超弦の運動、などなど。

また、クォーク非閉じ込め転移とブラックホール形成の関係など最近の話題にも触れたい。

Language: Japanese

(講演言語：日本語)

2014年12月26日(金) 13:30 -  
於 仁科ホール、仁科記念棟2階

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer  
[npsoc@ribf.riken.jp](mailto:npsoc@ribf.riken.jp)  
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>